

表 1 今回検討したオプションの整理

論点	項目	協会報告書の設定	今回検討するオプション	備考	
機能代替とシステム境界の設定	コークス炉化学原料化の機能代替	システム境界と機能代替 コークス、コークス炉ガス、炭化水素油の生成まで ・機能代替： コークス→コークス コークス炉ガス→重油 炭化水素油→炭化水素油	コークス炉、高炉からの生成ガスの用途である発電まで ・機能代替： コークス炉、高炉で発生するガスによる発電電力→電力会社からの電力	稲葉ら(廃棄物学会論文誌 Vol.16, No.6, 2005)	
	電力代替の設定	—	・コークス炉、高炉で発生するガスによる発電電力 →全電源平均 ・同→火力平均	上記オプションに対して設定	
削減ポテンシャルを見込んだ評価	容リパレット等の単位製品重量	パレット (ワンウェイ)	容リパレット：20.0kg/枚 樹脂パレット：7.5kg/枚	容リパレット： <u>10.0kg</u> /枚 樹脂パレット：7.5kg/枚	下線部今回想定
		パレット (リターナブル)	容リパレット：28.0kg/枚 樹脂パレット：20.0kg/枚	容リパレット： <u>20.0kg</u> /枚 樹脂パレット：20.0kg/枚	下線部今回想定
		コンクリート型 枠用パネル	容リパネル：9.0kg/枚※ 木材パネル：9.2kg/枚 ※木材パネルに対し 1、2.5、5 倍の寿命を想定	容リパネル：9.0kg/枚※ 木材パネル：9.2kg/枚 ※木材パネルに対し 1、2.5、5、 <u>10</u> 倍の寿命を想定	下線部今回想定
	再商品化時の残渣の発生割合	残渣の発生量 (ベール 1kg あたり)	0.48kg	0.439kg	再商品化事業者アンケート結果
	残渣処理の構成割合	単純焼却 焼却エネ回収 RPF エネ利用 セメント原燃料	15.6% 25.8% 40.5% 18.1%	①0% ②8.9% 30.6% 30.1% 48.0% 43.5% 21.4% 17.5%	①単純焼却をゼロとし、残りを現状の比率で配分 ②再商品化事業者アンケート結果
	焼却・エネルギー回収する場合の発電効率	廃棄物発電	10%	現行施設の高効率事例：20%	一般廃棄物処理実態調査より